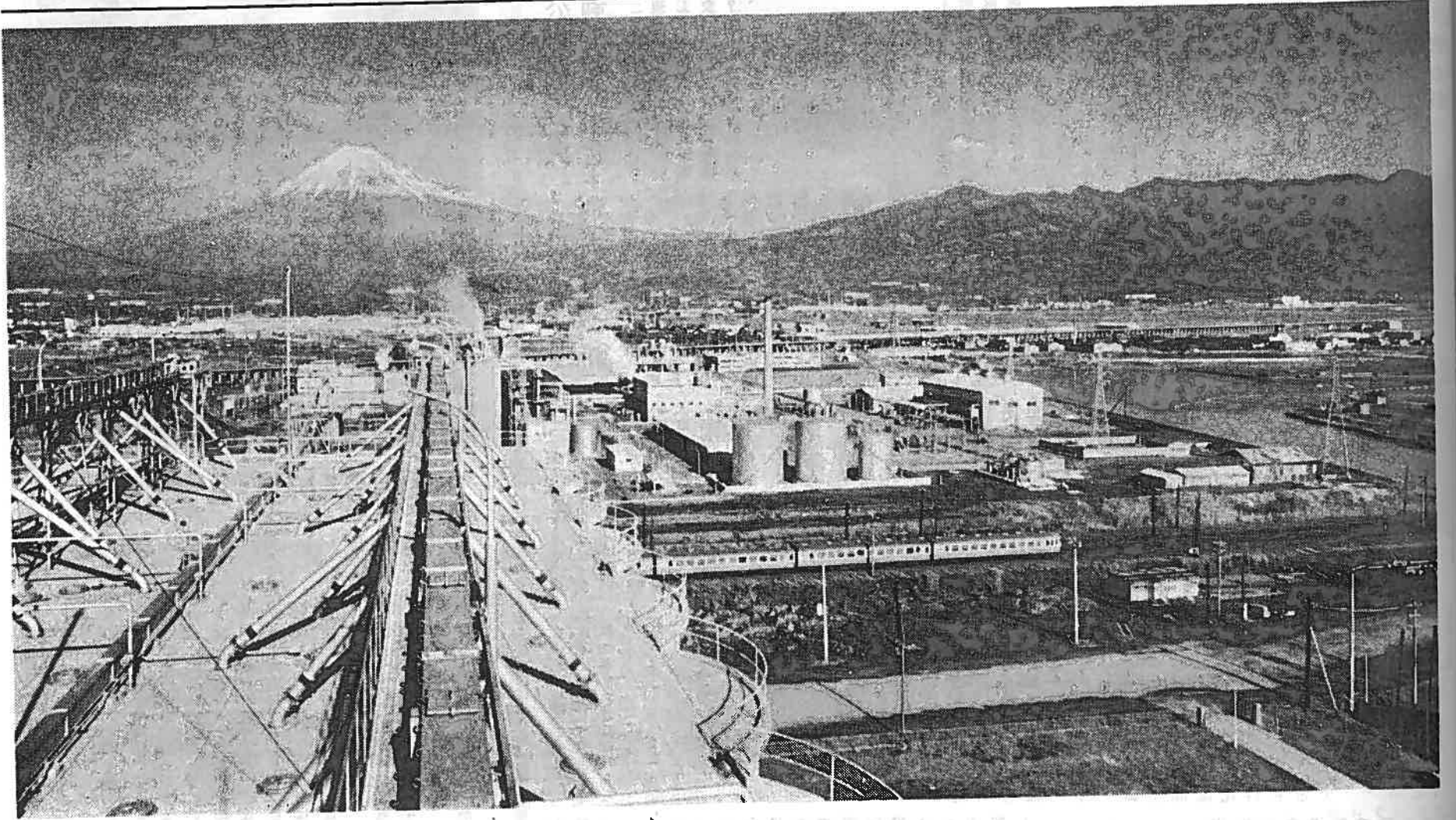


新年号

昭和41年1月1日

発行……吉原市役所
吉原市今泉43の1(電23111)
編集……市長公室

よしあら



66年の吉原市政に望む

どうなった合併問題

小笠原 豊子

話題の中心になっている合併問題について、つねづね考えさせられている一端を申しのべてみたいと思ひます。富士市と鷹岡町、そして吉原市の二市一町の合併の問題です。実際に合併するかどうか私たちは関心をもっております。四十年四月一日と話に聞きましたけれど、いまもつて、そのような心配がないのはどういうことでしょうか。私たちが一番心配になるのは合併したならば私はじめ友だち、職場がどのように変わるかと心配です。上の方々たちだけが承知し



(東国渥・調理師)

大淵街道の舗装早く

松浦 義行

私は大淵から市の中心部へ通勤している者ですが、道路の悪いことで毎日困らされております。天気が一週間も続くと大淵街道は黄色い砂ほこりのトンネルで、職場につくときは着ている物もまっ毛も白くなつてしまふ程です。特に朝夕の自動車の排気はひどいもので、小中学生などが手で口をおおひながら歩いているのを見るとき、町村合併促進法により昭和三十年に合併された五つの村の各主要道路一本位は舗装にしてもらいたいと思つております。面積から言つたら吉原市の中で四二%の広さを持つ大淵地区が岳南工業



(中野町一・中学教師)

小公園などの建設を

三枝 敏明

麗峰富士を背に、前に駿河湾をひかえ、岳南工業地帯の中心地として、活発な躍動を続けているわが吉原市に、ことしも限らない発展を、一市民として希望するものであります。四月を実現目標という二市一町合併問題、すでに始まつている東名高速道路工事、インターチェンジ、公害問題など、大きな仕事に蓄積しているようです。しかしながら、市民の生活の場として、だれもが感ずることと思うが、こせこせした狭い道を、無数の車に悩まされ、生命の危険を



(新迫町・金融業)

感じながら通らねばならない昨今子どもたちの憩いの場所(公園)こんご三、四年すれば当然起つてくるであろう街中の駐車場のこと公衆便所など、これらは都市計画に含まれているものもあるようだが、前者のような大問題に対し、小さな事はとく疎んぜられ勝ちになるゆえ、一日も早く実現して欲しい。市民の文化程度は、車の数や、煙突の数や、会社の数では、推し測ることはできないと思う。経済的にも文化的にもちがはぐでない、よい吉原市になるよう希望してやまない。

(上の写真は、逞しい生産の息吹きをあげ、工都の大メツカへと躍進するわが市を、日食サイロから展望したもの)